

ツクバネガシ

Quercus sessilifolia Blume

ブナ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

加賀南部が分布の北限である。生育地はごく限られており、また個体数も少なく、植物地理学的からも重要である。(現況:R-)

形態

葉はアカガシに似ているが、やや細めで、葉柄は短い。若い枝の葉は、全縁で細長く、先端部に集まってつく。雄花序は新枝の下部に数個ついて下垂し、雌花序は新枝の上部の葉腋に短く直立して3または4個の花をつける。

国内分布

本州(宮城県、富山県以西)～九州に分布する。

県内分布

南加賀区のヤブツバキクラス域に分布する。

生態など

高さ20mになる常緑広葉高木である。開花期は5月。果実は堅果で卵円形または楕円形で翌秋までに熟す。ウラジロガシ、アカガシ、ヤブツバキ等とともにツクバネガシ林を形成している。

生育環境

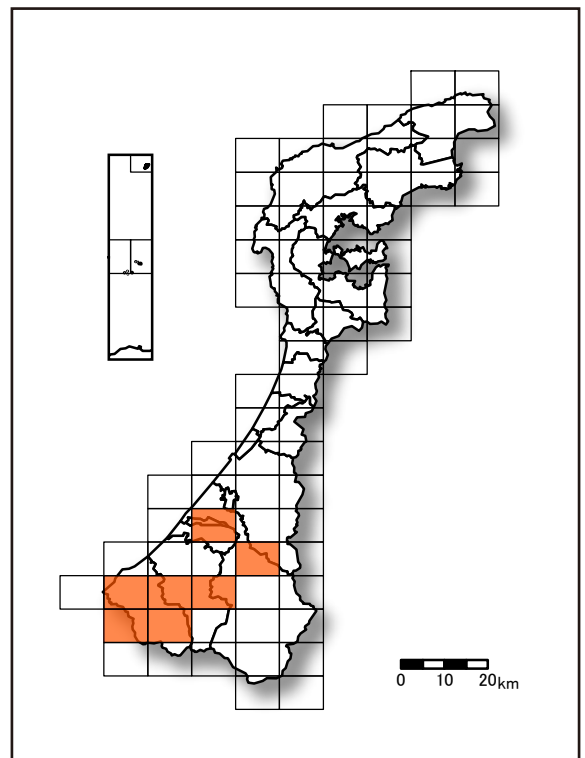
スダジイ林よりも標高の高いところに生育する。沢沿いの急斜面を好む傾向がある。

危険要因

森林伐採、道路工事、自然遷移。



林 二良・2008年4月16日・南加賀



県内の分布